平成３０年度　●●中学校　総合的な学習の時間　全体計画（例①）

第１の目標（学習指導要領）

【学校の教育目標】

豊かな心と確かな学力を身に付けた心身ともに健康な生徒の育成

（１）基礎的・基本的な知識及び技能を習得して，自分のものとして活用できる力の育成

（２）生徒自らが思考を広げたり深めたりしながら，新たな知識や価値を創りだす力の育成

（３）学んだことを自分との関わりで捉え，自分の生活に役立てようとする態度の育成

【総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ，地域の人，もの，ことに関わる総合的な学習を通して，目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し，自己の生き方を考えることができるようにするために，以下の資質・能力を育成する。

(1)地域の人，もの，ことに関わる探究的な学習の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに，

地域の特徴やよさに気付き，それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。

(2)地域の人，もの，ことの中から問いを見出し，その解決に向けて仮説を立てたり，調査して得た情報を基に考えたりす

る力を身に付けるとともに，考えたことを，根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。

(3)地域の人，もの，ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，持

続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え，自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

|  |  |
| --- | --- |
| 目標を実現するにふさわしい探究課題 | 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力 |
| 知識及び技能 | 思考力，判断力，表現力等 | 学びに向かう力，人間性等 |
| １年 | 地域の自然環境や環境問題とその保全に取り組む人々や組織 | 【別紙】探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力参照 |  |  |
| ２年 | 地域の食やそれに関わる地域の産業及び生産者 |
| ３年 | 町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織 |

|  |
| --- |
| 教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力 |
| 情報活用能力 | 言語能力 |

【各教科等における見方・考え方】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 国語 | 自分の思いや考えを深めるため，対象と言葉，言葉と言葉の関係を，言葉の意味，働き，使い方等に着目して捉え，その関係性を問い直して意味付けること。 | 体育 | 運動やスポーツを，その価値や特性に着目して，楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え，自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること。 |
| 社会 | 地理的 | 社会的事象を，位置や空間的な広がりに着目して捉え，地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で，人間の営みと関連付けること。 | 保健 | 個人及び社会生活における課題や情報を，健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え，疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上，健康を支える環境づくりと関連付けること。 |
| 歴史的 | 社会的事象を，時期，推移などに着目して捉え，類似や差異などを明確にしたり，事象同士を因果関係などで関連付けたりすること。 | 技術 | 生活や社会における事象を，技術との関わりの視点で捉え，社会からの要求，安全性，環境負荷や経済性等に着目して技術を最適化すること。 |
| 現代社会 | 社会的事象を，政治，法，経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）に着目して捉え，よりよい社会の構築に向けて，課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること。 | 家庭 | 家族や家庭，衣食住，消費や環境などに係る生活事象を，協力・協働，健康・快適・安全，生活文化の継承・創造，持続可能な社会の構築等の視点で捉え，よりよい生活を営むために工夫すること。 |
| 数学 | 事象を，数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え，論理的，統合的・発展的に考えること。 | 外国語 | 外国語で表現し伝え合うため，外国語やその背景にある文化を，社会や世界，他者との関わりに着目して捉え，目的・場面・状況等に応じて，情報や自分の考えなどを形成，整理，再構築すること。 |
| 理科 | 自然の事物・現象を，質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え，比較したり，関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること。 | 道徳科 | 様々な事象を道徳的諸価値をもとに自己との関わりで広い視野から多面的・多角的に捉え，自己の人間としての生き方について考えること。 |
| 音楽 | 音楽に対する感性を働かせ，音や音楽を，音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え，自己のイメージや感情，生活や社会，伝統や文化などと関連付けること。 | 特別活動 | 各教科等における見方・考え方を総合的に活用して，集団や社会における問題を捉え，よりよい人間関係の形成，よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現と関連付けること。 |
| 造形 | 感性や想像力を働かせ，対象や事象を，造形的な視点で捉え，自分としての意味や価値をつくりだすこと。 | 総合 | 各教科等における見方・考え方を総合的に活用して，広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え，実社会・実生活の課題を探究し，自己の生き方を問い続けること。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 【学習活動】 | 【指導方法】 | 【指導体制】 | 【学習の評価】 |
| ・地域の実態，生徒の実態を踏まえ，探究課題を設定する。・地域の人，もの，ことを生かした学習活動を行う。 | ・体験活動を重視する。・各教科等との関連を重視した指導を行う。 | ・全校指導体制を組織する。・メディアセンターとしての余裕教室及び学校図書館の整備・充実を図る。 | ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。・個人内評価を重視する。 |

【別紙】探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学年 | 第１学年（50） | 第２学年（70） | 第３学年（70） |
| 知識及び技能 | ・地域の自然環境や環境問題の現状が分かる。・地域の環境の現状と自分との関わりが分かる。 | ・地域の食や特産物の特徴が分かる。・地域の食と自分との関わりが分かる。 | ・町づくりや地域活性化の取組に関わる人々の思いや願いが分かる。・町づくりと自分との関わりが分かる。 |
| ･情報を比較，分類，関連付けて考えるなど，探究の過程に応じた技能を身に付けている。 | ・情報を多面的に見る，考えを具体化するなど，探究の過程に応じた技能を身に付けている。 | ・情報を構造化する，抽象化するなど，探究の過程に応じた技能を身に付けている。 |
| 思考力，判断力，表現力等 | 課題の設定 | ・自分たちを取り巻く社会に広く目を向けて，活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見出している。・解決の方法や手順を考え，見通しをもって計画を立てている。 |
| 情報の収集 | ・目的に応じて手段を選択し，情報を収集し適切な方法で蓄積している。・他者の意見や課題解決の方向性から，必要な情報を取捨選択している。 |
| 整理・分析 | ・問題状況における事実や関係を把握し，分類して多様な情報にある特徴を見付けている。・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え，視点を定めて多様な情報を分析している。 |
| まとめ・表現 | ・調べたり考えたりしたことをまとめ，相手や目的，意図に応じて論理的に表現している。・国語科や外国語科等で身に付けた技能を活用して表現している。 |
| 振り返り | ・学習の仕方や進め方を振り返り，学習や生活に生かそうとしている。・振り返りの観点を自己で設定して活動を振り返り，次の活動に生かそうとしている。 |
| 学びに向かう力，人間性等 | 主体性 | ・自分の意思で目標をもって課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 |
| 協働性 | ・自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 |
| 自己理解 | ・探究的な活動を通して，自分の生活及び地域との関わりを見直し，自分の特徴やよさを理解しようとしている。 |
| 他者理解 | ・探究的な活動を通して，異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとしている。 |
| 社会参画 | ・探究的な活動を通して，進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに，積極的に地域の活動に参加しようとしている。 |

※知識及び技能（概念的知識）については，具体的な探究課題を定めたのちに設定する。